キャラクター名: のあ

プレイヤー名:

シンドローム	ブラム＝ストーカー ウロボロス	ワークス	ぜのすれねげいどびーいんぐ	カヴァー	おんなのこ
オプショナル		年齢	9？	性別	女の子
覚醒	ぼうきゃく	衝動	けんお	初期侵食率	61 %
出自	わからない	経験	ぜのすのみんなとあった	邂逅	きょうかちゃん

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2		0			2
感覚	3		0			3
精神	3		0			3
社会	0	1	0			1

HP	27
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：ゼノス	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
従者の盾	白兵	2r-2	8	2		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
従者の甲冑		10	-5	-3)	

合計装甲：	10	合計回避：	-5

所持品	
デモンズシード	
従者の体躯	
退化の書	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
傍に立つ影	P	N		
きょうかちゃん	P 好意	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	(5)	常時	至近	自身	-	RB	
効果：	衝動判定のﾀﾞｲｽ+LV							
声なき者ども	4	(7+2)	常時	至近	自身	-		
効果：	作成可能な従者の数を+LV体							
愚者の兵装	5	(4)	常時	至近	自身	-	従者専用	
効果：	従者専用アイテムを取得							
オリジン:ヒューマン	1	2	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	RB	
効果：	ｼｰﾝ間ｴﾌｪｸﾄによる判定+LV							
赤色の従者	5	5	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動		
効果：	HP[Lv*5+10]の従者を同ｴﾝｹﾞｰｼﾞに作成							
愚者の軍団	1	5	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動	100	
効果：	《赤色の従者》の効果をLV体増加							
血の絆	3	3	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	自動		
効果：	シナリオ間持続する従者を作成							
灰:棘の獣心	3	4+2+(5)	ｵｰﾄ	至近	自身	自動	120 嫌悪	
効果：	ガード時、攻撃者に[Lv+2]DのHPﾀﾞﾒｰｼﾞ							
黒:時の棺	1	10+(3)	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	100	
効果：	言わずもがな							
アドヴァイス	1	4+1	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	自動	Dロイス	
効果：	C値-1(↓6)、ダイス+LV個							
再生する下僕	1	1	ﾒｼﾞｬｰ	至近	自身	RC	従者専用	
効果：	HP[Lv+1]D回復							
瀉血	1							
効果：								
効果：								

ゼノスに保護されている少女。
プランナーが敬語で話さない数少ない人物でもある。
多数の従者を顕現させるが、本人は力を行使していることに無自覚である。
またレネゲイドに関する知識を一切有していないが、本能的に直感的に感応することはできるようだ。
本人に攻撃能力はほとんどなく、ただ生存することのみに特化した能力であると推察される。
従者の見た目は一般的なものと然程変わらない犬型の血塊だが、のあ本人には様々な犬種の大型犬に見えているようである。
本人曰く『犬は好きではないが、この犬(自身の従者)は全然怖くなくて大好き』とのことである。
稀に従者と会話による意思疎通が図れているように見えることがあり、現在調査中である。

シンドロームはブラム＝ストーカー/ウロボロスだが、都築京香自らの手によってゼノスに保護されている。
何らかの作意があるのは確定的に明らかではあるが、ウロボロスを敵対視している彼女としてはあまりに異質な対応である。
「ゼノスにもウロボロスがいる」という情報は各組織に衝撃を与えた。

また、従者とは別にのあの傍らに常時存在しているドーベルマンはシャドウバディである。
知性を持ち、のあの保護者的存在の彼は「シュヴァルツ」と自ら名乗っている。　が、のあには「たろー」と呼ばれている。
のあが発見された当初からずっと彼女と一緒にいる個体のため、彼女の境遇などに詳しいとみられるが決して口を割ることはない。

記憶を失っており、ﾌﾗｸｽの能力をもってしても引き出すことが出来ないことから、相当な心理的抑圧が働いているとみられておりゼノスは対応を見送っている。
それでも現在の彼女はとても嬉しそうに笑うことができているので、現状のままで良いとする意見がフェンリルバイトを中心とした女性エージェントの内で叫ばれている。
彼女の過去に一体何があったのか。それを無暗に詮索することが果たして彼女にとって良いことなのだろうか？